

秋風 ここ

久礼田史跡めぐりハイキング

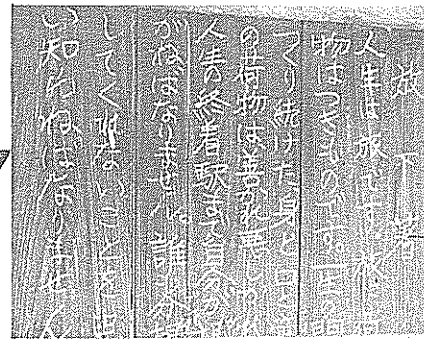


ただ一人の落伍者もせず、疲れも見せず、みんな元気に歩きました。「次の史跡めぐりハイキングはいつあるのですか」「今度は〇〇さんも誘って歩こうかしら」という声も聞かれる程、なかなか好評のハイキングでした。

ふだんあまり声をかけたことのない者同志が、旧知のごとくなごやかに話をつきまわしてました。岡豊山でのレクリエーションでは親子、青年が一緒にになり、また市教育委員会の応援もあって、ハイキングのフナーレを飾りました。



山内藩の家老乾家の菩提寺で、乾家五代にわたる大開塔の墓がある永源寺は、いん盛をきわめた当時からいばれます。また、禅寺でもあるこの寺の住職さんはユニークな方で、山門の入口の黒板には「訓話」が書かれ、時として訪れる人びとの心をなごませています。



十月十日の体育の日に、歩くことによって身体を鍛え、史跡めぐりをしようと、久礼田体育会（会長・北村福徳市農協久礼田支所長）主催の第一回史跡めぐりハイキングが行われました。自動車に乗ることはあっても歩くことが少ない現代人にとって、はたして人気があるだろうかという心配をよそに、午前九時になると久礼田農協前には、保育園児や小中学生をともなった親子連れ約七十人が続々集まりました。九時半に出発して、比江廃寺跡―比江山城跡（かもんさま）―永源寺の卵塔―国司館跡（紀貫之の旧邸跡）―国庁跡―国分寺―岡豊城跡と、約九時のコースを三時間かけて歩きました。この日は前日の小雨もあがり秋晴れとなり、歩くに従ってふき出る汗も秋風がこちよよく感じられ、快適なハイキングとなりました。午後は岡豊城跡でレクリエーションや宝さがしをして、親子青年たちとともに、楽しい体育の日の一日を終りました。



八世紀のはじめに、比江に国府がおかれ紀貫之が国司として来任したのはこの地―土佐の政治の中心地としての昔がしのべれます。市文化財審議会の北岡博先生が文化財の案内役をかっててくれました。

